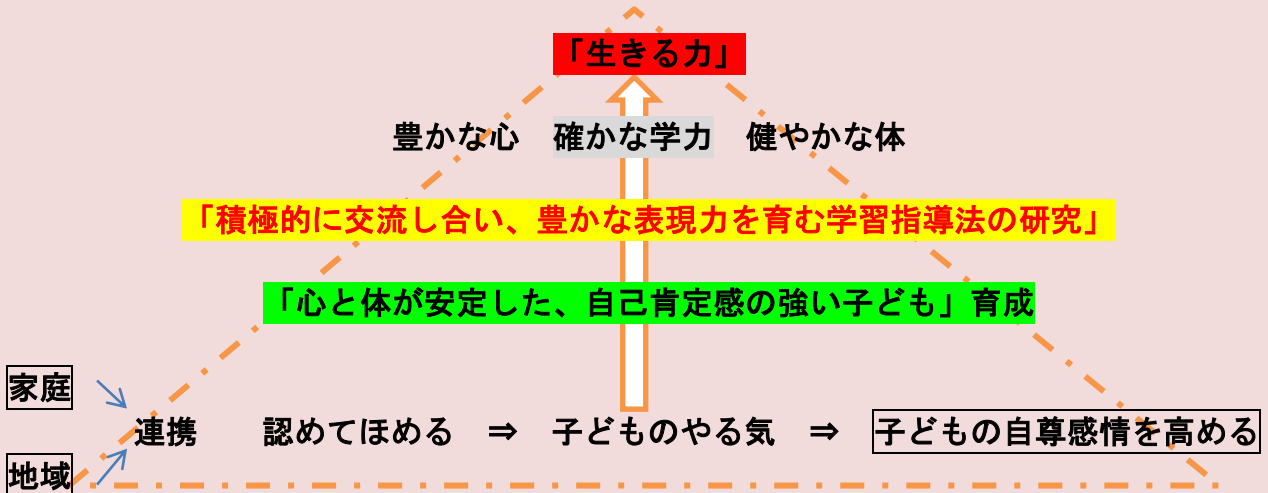


平成27年度 祝町小学校 研究主題

研究主題 「保護者・地域と連携し、適応感を高めるための学校教育の取組」

(定義) 学校への適応感 ≡

「児童が心穏やかに楽しく元気いっぱい学校生活を送ることができること」



(1) 家庭との連携 (一年次)

- ① 家庭学習チャレンジハンドブックの啓発と有効活用
- ② 認めて誉める場を設定
- ③ 自主学习ノート「祝っ子ノート」の取組

本年度も継続

(2) 地域との連携 (二年次)

家庭だけではなく、地域の方からも認め賞賛されることで、一層自尊感情を高めることができると考えられる。

① 地域への情報発信

- 地域行事や会議に積極的に参加し教育活動を発信
- マーチングバンドの起業祭出演 3・4年生の祝町市民センター春祭りの出演

② 地域教材を生かした学習の推進

- これまで取り組んできた「総合的な学習の時間」や生活科・社会科、理科等
 - ・大蔵川学習発表会と清掃活動
 - ・くれたけ荘との交流
 - ・アジアの研修生との交流
 - ・荒生田商店街でのお店屋さん体験
 - ・大蔵保育園との交流
 - ・年長者との昔遊び体験 等々
- 3年生が主体となって取り組む、新たな「祝町尋常小学校」の教材開発

③ 地域人材の活用

- ・栽培活動 (収穫、生命の連続性)
- ・エコ活動 (ESD) 持続可能な社会の実現

(3) 校内研究テーマについて

研究テーマ

「積極的に交流し合い、豊かな表現力を育む学習指導法の研究」

【着眼1】自分なりの考えをもたせる工夫

- ① 既習内容の揭示
- ② 「比較」「関連」をキーワードに絵や図、言葉等を比較関連させた思考

【着眼2】交流を支えるための工夫

- ① 思考の対象が明確になるための焦点化された発問
⇒ 「what」「where」を求める発問等
- ② 思考が可視化された板書やノート指導
- ③ 発表カードの活用
- ④ 多様な交流形態

【着眼3】学びの価値付けによる学習意欲を引き出す工夫

- ① 学びの振り返りでの賞賛、価値付け
- ② 学びを実生活に生かす自主学習「祝っ子ノート」の推進

平成27年度祝町小学力向上プラン全体構想図

